



ひよりにひよし

大事ないのち



自分たちの赤ちゃんだとしても、生まれてきた赤ちゃんは、胎児の頃から、既に「その人の人生」を始めています。そして、赤ちゃんには、本人の思いも、本人の意志もあるのです。

例えば、親が「こうしたらいい子に育つ」と思っても、赤ちゃんがそれを好むかどうかはわかりません。赤ちゃんにも、それぞれの思いがあるので、親の敷いたレールを走ってくれないとしても、それは当然のことなのです。

じゃあ、親の役目って何なのでしょう。か、何をすれば良いというのでしょうか。「げんこつやまのためきさん」(作曲・小森昭宏、作詞・香山美子)の歌を知っていますか。知らない方は検索して聞いて

てみて下さい。(聞いてみたら案外知っているかも…)

げんこつやまのためきさん
おっぱいのでねんねして

だっこしておんぶしてまたあした

この歌を聞いていると、親がすることは、赤ちゃんが食べること、寝ること、安心できる環境を作ること、充分だよと伝えているように思えます。親自身が楽しんで食事をして、しっかりと睡眠をとり、生活リズムが出来ていると、赤ちゃんとの暮らしのベースが整い、赤ちゃんは自分らしく育っていくのでしょうか。そんなことを、この歌はそっと教えてくれているのですね。